

国立大学改革強化推進補助金

平成25年度予算額	140億円
平成24年度予算額	138.33億円
平成26年度予算予定額	138億円

背景・課題

「日本再興戦略」（平成25年6月14日閣議決定）や教育再生実行会議第三次提言「これからの大学教育等の在り方について」（平成25年5月28日）等を受けた「今後の国立大学の機能強化に向けての考え方」（平成25年6月20日文部科学省）や「国立大学改革プラン」（平成25年11月26日文部科学省）を踏まえ、国立大学が各大学の強み・特色を最大限に生かし、自ら改善・発展する仕組みを構築することにより、持続的な「競争力」を持ち、高い付加価値を生み出す存在となるべく、「改革加速期間（第二期中期目標期間（平成27年度まで）の後半3年間）」において、さらなる機能強化に取り組む必要がある。

事業の内容

「ミッションの再定義」を踏まえた学内資源配分の最適化のための大学や学部の枠を超えた教育研究組織の再編成、及び人材の新陳代謝や年俸制への切替などの先導的な取組に対し重点支援。

なお、事業の実施に当たっては改革を加速する観点から取組内容を中期計画へ反映させることとする。

事業の効果

教育研究組織や学内資源配分を恒常的に見直す環境を生み出すことにより、持続的な競争力を持ち、高い付加価値を生み出す国立大学へと改革を強化推進



平成 26 年 3 月 14 日

平成 25 年度「国立大学改革強化推進補助金」の選定結果について

「国立大学改革強化推進補助金」について、選定結果をとりまとめましたのでお知らせします。

1. 事業目的

本補助金は、大学や学部の枠を超えた教育研究組織の再編成等を通じて、各大学の強み・特色の一層の伸長につながる国立大学改革を強化推進することを目的としています。

2. 選定結果

別紙のとおり、7 件の取組が選定されました。

<担当> 文部科学省高等教育局国立大学法人支援課
課長補佐 島居 剛志
専門職 橋本 新一郎
電話 03-5253-4111 (代表)
2494 (内線)
03-6734-3324 (直通)

平成25年度 国立大学改革強化推進事業 選定事業一覧

No.	実施大学名	事業名	取組内容
1	北海道教育大学	教員養成の質の向上を図るための教育学部の抜本的組織改革	課題解決型授業の実施、ステークホルダーの声を踏まえた授業評価及び教育課程評価や全ての教員が学校現場を経験することやテニュアトラック制の導入等により、教員の質の向上を図り、実践的指導力の強化を目指した教員養成の抜本的改革を行う。また、ガバナンス改革を進めるとともに、新学科については企業等から実務家教員の採用等を図り、国際性、創造性を有し、地域を活性化・再生しうる人材の養成を行う。
2	埼玉大学	学部の枠を越えた再編・連携による大学改革 ～ミッションの再定義に基づく研究力と人材育成の強化～	ミッションの再定義において、特定した大学としての強みや特色をさらに伸ばすために、全学的に資源の戦略的再配分を行い、ライフ・ナノバイオ、グリーン・環境、感性認知支援等、強みを有する研究分野への資源集中により研究力強化を図る。また理工系人材育成の量的・質的強化とともに、人文社会系人材育成の質的強化及び教員養成の質的強化に向けた組織再編により教育研究機能を強化する。
3	千葉大学	次世代対応型医療人育成と「治療学」創成のための亥鼻キャンパス高機能化構想	国立大学唯一の医療系3学部(医学・薬学・看護学)と附属病院が結集した亥鼻キャンパスにおいて、学内資源の再配分により、未来医療教育研究機構を司令塔として、医療イノベーション創出とグローバル化に対応するための教育研究組織改革及びガバナンス改革を強力に加速し、次世代の多様なニーズに応える医療人育成機能強化を果たすとともに、全学に改革を展開する。
4	横浜国立大学	世界の持続的発展に資する「リスク共生学」に基づく教育研究拠点の形成	都市イノベーション、安全工学、環境リスク等、これまでの強みを結集し、横断的に「リスク共生学」分野として創設し、グローバル社会が直面するリスク等の課題に対応する先端的研究を行う世界的拠点を構築する。また、その成果を踏まえた分野横断型の新学部を学長裁量ポストの活用その他、学内資源の再配分により設置し、我が国の課題である世界の持続的発展に資する理工系グローバルリーダーを養成する。
5	静岡大学	全学的な教育改革・組織改革によるグローバル人材育成機能の強化 ～ターゲット・アジア人材育成拠点の構築～	グローバルに活躍し経済社会の変革を担うイノベーション人材の育成機能の強化を目的に、地元企業等と連携するアジア人材育成拠点と全学教育マネジメント体制の構築、教育研究組織の柔軟な編成と運営を可能にする教育組織と教員所属組織の分離、人材育成に係る強みと特色をいかした人材資源の再配分による全学的な教育研究組織の再編成に取り組む。
6	九州工業大学	社会と協働する教育研究のインタラクティブ化加速パッケージ ～技術者のグローバル・コンピテンシー獲得へ～	社会が求める技術者のグローバル・コンピテンシー(GCE)の策定・可視化及び国際通用性のある人材養成のための教育プログラムを構築し、アクティブ・ラーニング、グローバル化対応教育を強化する。重点的な教員配置により環境関連工学等の強みをいかした大学院改組の実施とともにガバナンス改革に取り組み、海外教育研究拠点強化等による共同研究・協働教育のグローバル化を加速する。
7	政策研究大学院大学	諸外国の研究大学とアカデミアの知識戦略及びガバナンス戦略の分析に基づく大学改革のリーディングモデルの実践	公共政策大学院大学のリーディングモデルとして、機能強化の取組を進めるため、諸外国のトップスクールのガバナンス戦略等について調査分析を行うとともにその体系化を図り、改革の実現に向けた中長期戦略、具体的なマネジメントシステムを提言する。また、その成果等を活用し、教育プログラムの再編・組織見直しやガバナンス改革を実践するとともに、アジア公共政策教育研究コンソーシアムを構築する。